

宇都宮観光コンベンション協会 中期経営計画評価表（平成28年度実績）

平成29年4月1日現在

I 組織の概要

1. 基礎情報

所在地	宇都宮市中央3丁目1番4号		設立年月	平成12年4月1日	
市所管課	経済部 観光交流課		代表者	会長 北村 光弘	
ホームページアドレス	http://www.utsunomiya-cvb.org				
基本財産（資本金）	—		主な出資者	出資額	出資割合
	—		—	—	—
	—		—	—	—
市出資額	—		—	—	—
市出資割合	—		—	—	—
設立目的等	宇都宮市内に有する自然環境や文化的・経済的特性を活かして、観光客、コンベンションの誘致を行うことによって、観光、コンベンションの振興を図り、地域の活性化、文化の向上に資する。				
主な事業	1 誘致宣伝事業 2 観光推進，観光情報宣伝事業 3 コンベンション推進事業				
公益目的事業比率 （公益法人のみ）	—				

2. 組織・人員情報

役職員数	役員				職員					
	常勤	理事	0	0	正規職員等			嘱託・臨時職員等		
					うち市OB	理事との兼務	嘱託職員	7	0	
非常勤	監事	0	0	再雇用職員 （フルタイム）	0	0	再雇用職員 （短時間）	0	0	
	理事	28	0	派遣等職員	1	0	臨時職員等 （アルバイト等含む）	0	0	
監事	2	0	市以外	1	0					
計		30	0	計	7	0	計	7	0	
役員の平均年齢（歳）	—		役員の平均年収（千円）	—		情報公開制度の有無			×	
職員の平均年齢（歳）	52.2		職員の平均年収（千円）	5,779		個人情報保護体制の有無			○	

3. 財務状況

単位（千円）

【貸借対照表】	27年度決算	28年度決算	備考
資産	26,926	28,503	
負債	0	0	
（うち損失補償等額）	0	0	
純資産	26,926	28,503	
（うち利益剰余金）	0	0	

※一般財団等は、純資産を正味財産合計、利益剰余金を一般正味財産として読み替えています。

【損益計算書】	27年度決算	28年度決算	備考
総収入	62,819	63,546	
（うち市補助金等）	53,887	55,077	
（うち市委託料等）	0	0	
経常損益	0	0	
当期損益	0	0	

※一般財団等は、損益計算書を正味財産増減計算書、経常損益を当期経常増減額、当期損益を当期一般正味財産増減額として読み替えています。

Ⅱ 各項目の取組状況

1. 事業の充実・重点化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
1	餃子・カクテル・ジャズの街としてのブランド強化による誘客促進	入込客数15,000千人	14,169,900人	14,700,500人	14,830,100人			
2	ホームページによる情報発信力の強化	閲覧回数1,200千回	1,357,000回	903,209回	726,735回			

2. 地域における公益的活動の推進

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
3	観光関係団体に対する中間支援機能の強化	年間8件	7件	8件	8件			

3. 健全経営の維持と経営の更なる改善

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
4 (共)	市からの補助金・負担金の適正化	継続的な見直し	実施	実施	実施			
5	自主財源の確保	自主財源比率34%	32%	38%	29%			

4. 組織・人員体制の強化

No	取組項目	目標	基準値	実績値				
			H26年度	H27年度	H28年度			
6 (共)	常勤職員数の適正化	適正人員の確保	実施	実施	実施			
7	権利確保や収益事業推進に向けた組織のあり方の検討	適切な組織形態の確立	検討	検討	検討			
8	人材育成	ベテラン職員の人脈やノウハウを適切に引き継ぎ、事業を円滑に推進する。	実施	実施	実施			

Ⅲ 総合評価

団体による 自己評価	<p>【評価】</p> <p>平成28年度は、JRグループによるデスティネーションキャンペーン（DC）を来年に控え、宇都宮でのファーストコンタクトであるタクシードライバーを対象とした「タクシー乗務員おもてなし勉強会」やおもてなしへの意識の啓発を図るための事業者や市民を対象とした「おもてなしセミナー」の開催、来訪者に宇都宮のまちなかを歩いていただくことを目的に「餃子」や「ジャズ」「カクテル」のお店や土産品店をまとめて一枚に掲載した「街歩きマップ」などの作成を行った。また、「全国餃子サミット&全国餃子祭り in うつのみや」を宇都宮城址公園で開催し、20万人の来訪者を迎えるとともに、インバウンドの推進として「二か国語コンベンションガイド」の増刷するなど、1,483万人の過去最高の観光入込客数を達成することができた。</p> <p>一方で、取組項目のうち「ホームページによる情報発信力の強化」と「自主財源の確保」については、旅行者の情報収集手段がフェイスブックなどのSNSへと変化していることや、会費や広告などの収入が伸びなかったことなどから、それぞれ前年度の実績値を下回ったため、引き続き目標の達成に取り組んでいく。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・本番DCに向けた取組の推進や多様なニーズに応えられる事業の展開、経営基盤の強化を図るため組織のあり方の継続的な検討
所管課による 評価	<p>【評価】</p> <p>本市の観光入込客数は、平成28年に過去最高の1,483万人に到達するなど、順調に伸びており、協会においては、引き続き、餃子、ジャズ、カクテルなどの観光資源を活用した事業の実施による本市への観光誘客促進や、協会会員や地元企業・団体等と連携した事業展開による地域経済の振興と来訪者へのおもてなしを充実させる役割を期待したい。</p> <p>ホームページの閲覧数については、今後は、SNSの活用のほか、ホームページにおけるわかりやすい情報提供や、多言語での情報掲載をすることにより、効果的な情報発信を実施してほしい。</p> <p>自主財源の確保については、会費収入は横ばいであるものの、民間事業者と連携し、路線バス乗車券を企画販売するなど、収入源の確保に取り組んでいる。引き続き、自主財源の確保のための取組を実施するとともに、収益事業推進に向けた組織のあり方の検討を進める必要がある。</p> <p>【今後の課題】</p> <ul style="list-style-type: none">・JRグループのデスティネーションキャンペーンなど今後実施される観光キャンペーンやMICEなどのコンベンションに合わせた観光誘客事業やおもてなし事業の検討・多様な媒体を活用した情報発信の強化・自主財源の確保に向けた取組の実施・民間事業者と連携した事業の実施・今後の協会の事業推進に適した組織のあり方検討